

朝鮮をめぐる清との対立！ ついに日清戦争へ！！

清との対立は明治から始まっていた！

明治維新によって日本が新しく生まれ変わった時、日本は欧米のようにアジアで優位に立ちたいと思った。そして欧米の真似をして強い軍事力を持って、植民地を増やして行く作戦に出たんだ。

1871年日清修好条規

まず目を付けたのが中国の「清」。でも、清はアジア最大の国。日本の言い分を聞くはずも無い。日本がやられたように清に対して不平等条約を結ばせようと思ったら、

「は？そんなの認めるわけないだろ！」と怒られてしまう（泣）
そこでターゲットは、清の下に付いていた「朝鮮」へと変わって行く。



ちょっと強引ぜよ



1875年江華島事件

国内では西郷隆盛達がリストラされた武士を活躍させようとして征韓論を唱えていた。やっぱり狙いは朝鮮。でも朝鮮だっけいくら脅しをかけてもなかなか不平等条約は結んでくれない（そりゃそうだ）。そこで政府は1875年、朝鮮の江華島に軍艦を持って行って軍事演習を行った。そして怒った朝鮮と戦争して勝ってしまうんだ。そうして結ばれたのが日朝修好条規、不平等条約だ。

1876年日朝修好条規